

# 薬草図鑑のたのしみ方

薬草図鑑の見どころをご紹介します！

## サブタイトル

薬草ごとにサブタイトルが違います！

## きれいな写真

薬草のある場所へ直接行って撮影しています！  
それぞれが奇跡の一枚です。

## 百花の王

### ボタン

学名：Paeonia suffruticosa Andr. 科名：ボタン科



昔から婦科の女を花に例えて、「立てては芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」と言いますが、これらの植物は美しいだけでなく、古くから生薬として利用されてきました。芍薬は中風原産の落葉性低木や、平安時代の頃に日本に渡来し、観賞用薬用として広く栽培されました。花の姿華やかで中国では「花王」「百花の王」と呼ばれ、清の時代（17世紀）には「国花」として珍重されました。

冒頭に女性を「座れば牡丹」と例えていますが、ボタンは、座りこんでしまうような下部の痛みなどの症状を改善してくれる生薬になります。生薬名を「牡丹皮（ボタンビ）」といいますが、薬用部位は根皮です。牡丹皮は日本薬局方に収載されている生薬で、有効成分「ペオニン」は、鎮痛、鎮痙、解熱、抗炎症、止血、抗腫作用などを様々な作用を示します。また、血液が滞って巡らな状態を改善する駆瘀血（くあけち）作用があり、女性の悩みである生理痛や生理不順、更年期障害などを改善します。

生薬名	牡丹皮（ボタンビ） <b>【生薬】</b>
薬用部位	根皮
薬効	鎮痛、鎮痙、解熱、抗炎症、止血、抗腫、止血、駆瘀血作用など
用途	虫垂炎などの化膿性疾患治療や婦人薬として用いられる 通経薬（ワンゲイトウ）、加味逍遙散（カミシヨウヨウサン）、 桂枝茯苓丸（ケイチフクリョウガン）、大柴胡湯（ダイオウボタントウ）など

城西国際大学薬学部 6年生 武田祐衣

## 図鑑なのに親しみやすい

図鑑なのに難しくない！  
薬草に絡んだ豆知識も豊富です♪

## シンプルな表

薬効や用途などが一目で分かりやすい！

難しい漢方薬には読み仮名がふってあるので安心です。

みのりの郷、サンピア東金店にて  
リーフレットも配布中です。